

2025年度

## イオンゆめみらい保育園津南 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月1日（木）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月28日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受容し寄り添っていけるように努力してきたが、安全な保育が中心になっていた。今年度の反省を基に次年度は人員配置を考え子どもの最善の利益を実現できるような保育実践に努めたい。
子どもの発達援助	子どもの姿に添った保育計画を立案しているが、365日開園のため職員や子どもが揃わない日もあり、立案を実践していくのに難しさを感じた。次年度は、各クラスに2名の担任を配置して子どもたちの発達、実状を常に共有し保育を実践し発達の援助をしていきたい。
保護者に対する支援	送迎時に、日々の子どもの様子や成長を伝えるようにしてきた。また、個別懇談も年2回担任と保護者の距離も近くなったように感じた。しかし、職員間の連携不足で保護者の方にご迷惑をおかけする事案もあったので、次年度はより一層職員同士の連携の強化をしていきたい。
保育を支える組織的基盤	年間を通して、虐待のQ&Aを題材に職員研修を行い保育の見直しをした。また、パート会議を年2回設定することで、職員の連携ミスやすれ違い、共有できていない事も改善された。次年度は、体制を整えチームワーク作りを再構築し、保育の質の向上を目指していきたい。

総評
今年度は、安全保育に重きをおいた保育が中心になったが、次年度は、各クラスの担任を2名配置し立案の実践と、クラスミーティングなど行いチームワークを円滑にできるようにし、子どもたちに質のよい保育が提供できるようにしていきたい。また、今年度行った保護者アンケートの意見を、次年度に生かしていきたい。